



調査報告書

令和5年11月28日

小牧市議会議長 様

会派名 牧政会  
代表者氏名 石田 知早人

調査を行いましたので、その結果を報告します。

記

1 調査日

令和5年11月28日(火)

2 調査先及び調査項目

調査先: 名古屋港管理組合(名古屋市港区港町1-11)  
調査項目: 名古屋港の業務状況及び議会運営について

3 参加議員

石田知早人、小島倫明、長田淳、木村哲也、河内伸一、  
河内光、佐藤悟、余語智、阿部哲己、永井孝典

4 調査内容

別紙のとおり

① 日時

令和5年11月28日（火） 10時から14時まで

② 訪問先 名古屋港管理組合

③ 説明者 名古屋港管理組合事務局長

④ 調査項目 名古屋港の業務内容及び管理組合議会の状況調査

⑤ 視察先の選定理由や目的

名古屋港飛島ふ頭のコンテナターミナル整備により、海外向けのコンテナ貨物取扱量は、1989年から約3倍に増加し、飛島ふ頭取扱コンテナの約4割が小牧・岐阜方面へ輸送している。

また、名二環（名古屋西JCT～飛島JCT）の整備により、所要時間が短縮され、小牧市から飛島ふ頭間の物流の回旋数が1日2往復から3往復となり、物流の効率化が図られている。

このような物流機能が強化される中で、本市の物流と日本一の取扱量を誇る名古屋港とは、今後も大きな相乗効果が期待されることから、名古屋港の業務内容を把握するとともに、管理組合議会の状況を調査するため、名古屋港管理組合を視察先として選定した。

⑥ 視察項目の概要説明

（導入経緯・内容・実施状況・効果・課題等）

▷名古屋港の全容

- ・名古屋港は遠浅の海を浚渫し、その土砂で土地造成した。
- ・4市1村（名古屋市、東海市、知多市、弥富市、飛島村）にわたる広大な臨港地区（陸域：約4,301万㎡）と港湾区域（水域：港湾区域8,167万㎡）を有している。臨港地区は、日本最大となっている。

▷一元管理

- ・愛知県と名古屋市が整備してきたことから、両者を母体とした一部事務組合の形式で設置され、4市1村にまたがるものの、この一元管理体制が名古屋港の大きな発展へと繋がった。

※横浜市、神戸市は市が港湾を管理している。

#### ▷管理者と管理組合議会

- ・管理者は、愛知県知事と名古屋市長が2年交替で就任されている。
- ・議会においては、愛知県議会と名古屋市会から選出された30名で構成されている。管理組合の職員は約610名体制である。
- ・議員定数30名。
- ・令和5年度予算は総額367億円(一般会計、基金特別会計、施設運営事業会計、埋立事業会計)

#### ▷ものづくりと暮らし

- ・愛知県の製造品出荷額等は、昭和52年依頼、連続して全国1位。
- ・名古屋港で取り扱われるコンテナ貨物の約97%が中部9県で生産・消費されている。
- ・名古屋港の輸入コンテナ貨物の第1位は「衣類、見廻品、はきもの」、その他家具装備品、製造食料品等が運ばれてくる。
- ・臨海部で穀物、鉄鉱石のような原材料を受け入れ、製品化して国内外に輸送する形態や石油精製、発電、都市ガス供給等、エネルギーステーションを形成しているのも名古屋港の特徴である。
- ・ものづくりの主な取扱品種：完成自動車41.3%、自動車部品20.3%  
暮らしに関係する主な取扱品種：LNG(液化天然ガス)21.3%、原油11.2%  
鉄鉱石11.0%
- ・愛知県の製造出荷額43兆9880億円(令和3年)

#### ▷国際競争力強化

- ・コンテナ物流機能の強化は、港の関係者が一体となって取り組んでいる最重要施策である。
- ・日本初の自動化コンテナターミナルや3バース一体運営による高効率なコンテナターミナルが稼働しており、船舶の大型化等に対応する岸壁や荷役機械などの施設整備を進めている。

#### ▷コンテナターミナル

- ・飛島ふ頭南側コンテナターミナル  
日本初となる自働搬送台車(AGV)や遠隔自働RTGを導入した自動化ターミナルで、ITを活用してこれらの機器の効率的な連携を図るなど更なる荷役効率向上への取組がなされている。
- ・飛島ふ頭東側の3つのコンテナターミナル  
東側の総延長2,220mに飛島ふ頭北コンテナターミナル、日本初の株式会社形式のNCBコンテナターミナル、飛島ふ頭南コンテナターミナ



ルを配置し、ロジスティクスの基地と一体となった最適な物流を提供している。

#### ▷自動車積出基地

- ・自動車輸出台数は年間約 120 万台。

- ・金城ふ頭、弥富ふ頭

完成自動車の輸出入の拠点となっているほか、海外生産された完成自動車を一旦名古屋港に集積させ、再び世界各地へ輸送するトランシップも行っている。金城ふ頭において新規岸壁の整備や保管用地の造成工事を進めている。

- ・広大な積出基地の新宝ふ頭や、近年国内向け積出基地としても利用されている潮見ふ頭がある。

#### ▷基幹産業等生産基地

- ・名古屋港は、ものづくり産業を支える物流のほか、鉄鋼の生産、石油や天然ガスなどエネルギーの供給でも重要な役割を果たしており、さらに恵まれた広大な用地、「シーアンドエア」が容易なアクセスなど、工業港としても条件が揃っている。

- ・石油・LNG 基地

北浜ふ頭では、石油化学製品の基礎原料の生産、南浜ふ頭では原油の精製が行われている。

南浜ふ頭と南 5 区では、発電用燃料や都市ガスの原料として利用される LNG(液化天然ガス)の供給を行っている。

- ・火力発電所

名古屋港には 4 つの火力発電所が立地している。燃料となる LNG を名古屋港内から調達し、地域の電力需要を支えている。

- ・航空宇宙産業基地

名古屋港には、航空宇宙産業拠点が集積し、米国航空機会社の旅客機の主要部品の生産が行われている。

- ・その他、石油製品基地、穀物基地、鉄鋼生産基地がある。

#### ▷防災施設の整備

- ・昭和 39 年に総延長 7.6Km の高潮防波堤が整備された。大規模地震や高潮・津波災害に対する安全性確保のため、名古屋港基準面から +8.0 m 高までの嵩上げなどの改良が、平成 23 年から 6 年間かけて整備された。

⑦議員からの主な質疑

質1 鍋田ふ頭コンテナターミナルでは主にどのようなものが輸入されているのか。

答1 主に中国や韓国からの服などが輸入されている。

質2 管理組合議会の正副議長及び議員は、毎年交替するのか。

答2 正副議長及び議員は一年ごとに交替します。

質3 今後、人口減少が進む中、作業体制に課題はないのか。

答3 人口減少を見据え、IT化をさらに進めていく必要があると考えています。

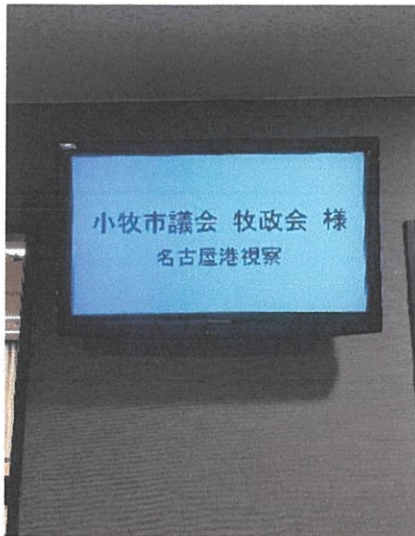
⑧議員の意見

- ・大規模地震による津波の対策として、嵩上げの整備をされたが、重要な拠点である名古屋港を継続的に維持するため、災害対策の強化を要望する意見があった。

⑨考察（小牧市への反映）

- ・名古屋港は、ものづくり産業の物流だけでなく、鉄鋼の生産、石油や天然ガスなどエネルギーの供給でも国民生活に重要な役割を果たしていることが再確認できた。また、アクセスが容易にできる環境もあり、本市にとってもさらなる相乗効果を期待したい。
- ・今年の夏に名古屋港のシステムがサイバー攻撃により物流が停滞した。これを受けて、政府は、サイバーセキュリティ基本法が定める「重要インフラ」に港湾を追加する方針を固めた。このようなサイバー攻撃により、港湾機能がサイバー攻撃で停止した場合、国民生活、経済活動に大きな影響を受け、本市の物流機能においても影響を受けることが考えられるため、今後注視していく必要がある。





議場内



管理組合のフェリー前



ガントリークレーンでコンテナ作業



ヤード間を自動制御で往復する自動搬送台車AGV  
※手前の車がAGV



高潮防波堤 ※白い箇所が嵩上げ